

■本庁代表 ☎ (56) 1111 ■総合支所代表 ☎ (59) 3111

60万円以下の支払いの
トラブルに「少額訴訟」

静岡地方裁判所

少額訴訟手続きは、少額（60万円以下）の金銭の支払いをめぐるトラブルを速やかに解決するための手続きです。原則として1回の審理で終了し、審理が終了した後ただちに判決の言い渡しながされます。

ただし、審理を1回で終わらせるためには、口頭弁論の期日前に自分の主張を整理し、これに対応する証拠をそろえるなど事前準備をする必要があります。

裁判所の入口にリーフレットや定型の書式が備えられていますのでご利用ください。また裁判所ホームページから一部の書式をダウンロードすることができます。

http://www.courts.go.jp/

【問】静岡地方裁判所

☎054 (252) 6111

「富士山の日」にちなんで
ウォーキング参加者募集

かなや観光ボランティアの会

かなや観光ボランティアの会では2月20日、富士山の日にちなんで「富士山を遠望しながら歴史の道ウォーキング」を開催します。ご参加ください。

日時 2月20日 午前9時～
内容 富士山を遠望しながら、旧東海道11年街道を登り、行人塚や諏訪原城跡、芭蕉塚などの史跡をウォーキングで巡ります。

集合場所 大井川鐵道金谷駅

参加費 昼食代・電車賃は実費

申込締切 2月13日

見学コース 金谷駅→電車→日切駅→日切り地蔵→夢づくり会館→行人塚→諏訪原城跡→芭蕉塚→石畳茶屋→JR金谷駅（午後2時解散予定）

【問】かなや観光ボランティアの会

☎ (46) 2844 FAX (46) 2861

焼津さわやかハイキング
一足早い春を感じながら

県立焼津青少年の家

魚の町焼津の魅力満載。高草山からは富士山、志太平野、駿河湾の大パノラマ。一足早い春の気配を感じながら歩いてみませんか。富士山の日協賛事業です。

日時 2月26日～27日（1泊2日）
（26日午後1時30分～27日午後3時45分）

内容 焼津市内の散策。大漁旗染め上げ体験や海洋深層水体験、高草山ハイキングなど

対象 健康な人。未成年者（小学1年以上）は保護者同伴で参加可。

定員 50人程度

今月の納期

◆固定資産税・第4期分
◆国民健康保険税・第8期分
納期限は2月28日です。口座振替の人は2月28日に引き落とされます。残高の確認をお願いします。

税務課 ☎ (56) 2223

川根本町の人口

平成23年1月1日現在

世帯数	3,055	世帯 (-4)	【44】	出生	2	人	【0】
総人口	8,462	人 (-23)	【73】	死亡	15	人	【0】
男性	4,129	人 (-14)	【15】	転入	3	人	【0】
女性	4,333	人 (-9)	【58】	転出	13	人	【1】

※ () 内は前月比、【 】内は外国人数、右欄は今月中の異動 ※外国人の数を含む

より良い品を より安く

オザワマート

営業時間・午前9時～午後7時

川根本町上長尾 ☎56-1108 FAX56-1109

有効期限：2011年2月末日

御食事処 村の窓 2割引券

営業時間：午前11時～午後2時 定休日：木曜日

この券1枚で2名様まで ※土曜・日曜はご利用になれません。

この券を切り取ってお持ちください。

ここにも、一つの物語。
広報かわねほんちょう

本年度の「中学生の税に関する作文」には全国7344の中学校から54万3735通の作品が寄せられた。石黒明日香さんが全国納税貯蓄組合連合会優秀賞、高瀬瑠菜さんが島田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞に選ばれた。受賞作文の内容から2人の税に対する考え方を紹介する。

石黒明日香さんの作文「税は私たちが暮らしの中に」。通院をきっかけに税金の大切さに気付いた経緯が述べられている。

空手の試合中に足をケガした明日香さん。病院で診察・検査した結果、骨折していることが分かった。レントゲンなどの検査費用が高額になるのではと心配しながら会計に向かった。

「そうしたらビックリ。500円で済みました。さらに驚くことに、診察後に薬局に行つて痛み止めの薬と塗布薬をもらいましたが、このお金もかかりませんでした。」

不思議に思った明日香さんが、付き添ってくれた祖父に尋ねると「町の補助のおかげだよ。ありがたいことだね」と教えてくれたという。

補助について興味を持った明日香さんは、町のホームページで調べてみると小学生対象の医療費助成が、中学生まで拡大されたという記事が載っていたのだ。

を送ることができるとは「税金」のおかげなんだと気が付きました。明日香さんは「将来、自分が大人になつたときには、しっかりと税金を納めたい。未来の子どもたちやお年寄りが、今以上のサービスを受けられるように」と心を込めて書きつづった。

高瀬瑠菜さんの作文「川根本町で過ごして」。住民自らがまちづくりに取り組む姿勢を誇りに感じている様子が表現されている。

中学一年のとき、静岡市から本町に越してきたという瑠菜さん。この町の第一印象は『さみしいところ』だった。しかし学校生活を送るうちに、そんなマイナスのイメージは次第に薄れていったという。

「学校の友達や近所の人は優しい人ばかりでした。奉仕作業や資源回収などに、地域の人たちが積極的に参加する姿がとても素晴らしいと思えました。以前住んでいた静岡市ではあまり見られない光景でした。」

瑠菜さんは「税金が少ない本町。いろいろな面で節約しなければなりません。だからこそ、少しでも自分たちで町をきれいにしようとする心が大事。町に頼るのではなく、少しでも自分たちで何ができるのか考え、実行していきたい」とまとめている。

のまち
の未来



高瀬
瑠菜さん

Takase Runa

島田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞
本川根中2年

石黒
明日香さん

Ishiguro Asuka

全国納税貯蓄組合連合会優秀賞
本川根中2年

生活に溶け込む「税の大切さ」

本中生の「税の作文」が各賞を受賞